座談会　日本語教師養成校トップが合格者に聞く

日本語教員試験にチャレンジしました！合格者に聞く合格のコツとポイント

国家資格「登録日本語教員」制度がスタートし、2024年11月、「令和6年度日本語教員試験」が実施された。初回の国家試験はどのような内容だったのか、合格者はどんな試験対策を行ったのか――。
「令和6年度日本語教員試験」合格者の坪内真由子さん、森雅彦さんを迎え、アルファ国際学院の梶浦玄器学院長と試験合格の極意を語ってもらった。

「令和6年度日本語教員試験」の全体の受験者数は1697人で、5093人が合格、合格率は43.5%だった。このうち試験ルート（基礎試験＋応用試験）の合格率は8.7%、Cルート（現職者に限らず必須の50項目に対応した課程修了者。基礎試験免除と応用試験のみ）の合格率は60.8%で、基礎試験の難しさが際立つ試験結果となった。坪内真由子さんはCルート、森雅彦さんは試験ルートでチャレンジして、見事に合格を果たした。

◆試験当日の感想

「日本語教育能力検定試験」より難易度アップ 予想外の項目に関する出題も

梶浦　「日本語教員試験」合格おめでとうございます。森さんは、基礎試験と応用試験の両方を受験しましたね。

森　そうなんです。実は6年ほど前に日本語教師養成講座を修了して、技能実習生に日本語を教えていたのですが、学士を取得していなかったので、試験ルートで受験することになりました。

梶浦　基礎試験がかなり難しかったと聞きましたが、受けてみてどうでしたか。

森　試験対策として「日本語教育能力検定試験」の過去問を解いて、最終的に9割ぐらいは取れていたので、試験を受ける前は自信がありました。ところが、実際に基礎試験を受けてみたら問題のレベルがまったく違っていて、「これは落ちたかな」と思うぐらい難しかったです。試験範囲は「日本語教育能力検定試験」と同じなんですが、問われている内容がより詳細になって、予想しなかったところも出ました。7割、8割ぐらいでギリギリ合格できたのかなと思います。

梶浦　基礎試験は各区分で6割程度、総合で8割程度の得点が必要なので、非常に難易度の高い試験になりましたね。「日葡辞書」など、現在の日本語教育には直接関係なさそうな知識を問う問題もあって、予想外の出題でした。それだけ幅広い知識と技能が問われる試験だったと言えるでしょう。

森　文法については特に、一般的な知識をさらに深く掘りさげた問題が多かったという印象です。また、訪日外国人の数や日本語学習者の数を問う時事問題も出題されました。

梶浦　お二人とも日本語教師の経験をお持ちですが、その経験は応用試験に役立ちましたか。

森　ロールプレイの仕方や、タスクベースの教授法で教師が留意すべき点などが出題されたので、日本語教育の現場にいる人のほうがイメージしやすいだろうなと感じました。その点で、日本語を教えた経験があってよかったです。

坪内　私は当時、日本語を教え始めたばかりで3か月のキャリアしかなかったので、理論だけで応用試験に対処するのは難しいなと感じました。例えば「ナ形容詞」「イ形容詞」の定義は理解していても、学習者とのやり取りまでイメージしないと答えられないような問題になっていたので、もっとキャリアを積んでいればわかったんだろうなと思います。

森　学習者とのコミュニケーションの取り方も出題されたので、やはり現場経験がある人のほうが有利だったと思います。

坪内　聴解問題は特にそうですよね。「これって、ある、ある！」と思いながら、なんとなく授業場面をイメージして問題を聴いていました。現場経験があるかないかで、有利不利がはっきり分かれたと思います。

梶浦　聴解問題に関しては、「日本語教育能力検定試験」と「日本語教員試験」で出題内容の比率が変わりました。従来、教師と学習者のやり取りの問題は6問だったのが、「日本語教員試験」では20問程度出題されました。このタイプの問題は、指導経験のある人のほうが得点が伸びたかもしれないですね。

試験会場の環境はどうでしたか。音声は聴き取りやすかったですか。

森　いえ、音がこもっていて聞き取りづらかったです。しかも速くて、考える時間がないままどんどん進んでいきました。

坪内　本当に速かったですよね。私はずっと心臓がドキドキしていました。

森　考える暇もなく、あっという間に終わったという印象です。聴解問題は全然できなくて、点数も低かったです。

梶浦　そうでしたか。応用試験の合格基準は読解と聴解を合わせて6割程度と言われていますから、読解部分で着実に得点することが重要だということですね。

◆試験対策

過去問を区分ごとに解いて出題傾向を分析 データや情報も押さえる

梶浦　森さんは、試験準備にどれくらいの時間をかけて、どんな対策をしましたか。

森　前職を辞めて、9月から試験までの2か月間、毎日5～6時間ぐらい図書館やカフェで勉強しました。体を動かしながら覚えるとよく覚えられると聞いたので、夜はウォーキングをしながら暗記したり、YouTubeの解説動画を聴いたりしました。

梶浦　すごいですね。2か月間、1日中勉強していたんですか。

森　他にやることもなかったので（笑）。最初は大変でしたけど、勉強していくうちにだんだん楽しくなってきました。

梶浦　日本語を教えた経験や知識があるから、それを深く掘り下げていくのが楽しくもあるんでしょうね。

森　そうなんです。養成講座時代に学んだことや自分自身の現場経験と照らし合わせて、「ああ、こういうことだったんだな」という気づきがあっておもしろかったです。試験勉強自体が自分の役に立つと思っていたので、苦になることはなかったです。

梶浦　どんな参考書や問題集を使いましたか。

森　「日本語教育能力検定試験」の過去問6年分と、「赤本」と呼ばれるガイドブック、それに文法や音声のテキスト、用語集などを使いました。過去問を解いて、わからない

基礎試験の難易度高く試験ルートはかなりの難関に 応用試験は予想どおり現職者に有利な出題傾向

アルファ国際学院学院長 梶浦玄器さん
38年の実績を誇り、多数の日本語教師を輩出してきたアルファ国際学院の学院長として、質の高い日本語教育の普及をめざし、国内外で環境の整備に取り組む。
アルファ国際学院
https://alpha.ac.jp/

坪内真由子さん
航空会社勤務ののち結婚を機に退職して専業主婦となる。育児がひと段落したタイミングでアルファ国際学院で学び、2024年、日本語教師として仕事を始める。令和6年度日本語教員試験合格。

森 雅彦さん
飲食業、小売業などに従事したのち、日本語教師養成講座で学び、日本語教師に。5年間、オンラインでインドネシアの技能実習生に日本語を教える。令和6年度日本語教員試験合格。

協力／アルファ国際学院（https://alpha.ac.jp/）　構成／岡崎智子　撮影／鈴木 忍

ところはYouTubeの解説動画を見て、ということを繰り返して正答率を高めていきました。「日本語教育能力検定試験」と「日本語教員試験」は出題範囲と形式が似ているので、「日本語教育能力検定試験」の過去問に取り組む価値はあると思います。

坪内　過去問はそれぞれ、何回ぐらい解きましたか。

森　「日本語教育能力検定試験」と同じ試験時間で1年分を解いてみて、わからなかった問題を解説を見ながらもう一度解く。1か月ぐらい時間を置いてまた解いて、間違えた箇所の答えを覚え直す。試験本番前にもう一度過去問を問いて、最終確認する。これを6年分やりました。

　初めて過去問を解くときは、1年分を問題1から順番に解いていくのですが、2回目以降は平成28年度の問題1、29年度の問題1……というふうに区分ごとに取り組んで出題傾向を分析しました。この方法が私には合っていたなと思います。

坪内　アルファ国際学院の対策講座がまさにその方法でした。ポイントがまとまっていてとても学びやすかったです。

梶浦　そうそう、区分ごとに年度をスライドして学ぶというのも有効な学習方法の一つですよね。

　Cルートの坪内さんは、応用試験のみの受験でしたが、どのような対策をしましたか。

坪内　6月から対策講座が始まり、それと同時に私も過去問に着手しました。まず直近3年分を購入して、それだけでは不安だったので、さらに2年分を買い足しました。

梶浦　「日本語教育能力検定試験」の応用試験は、「日本語教育能力検定試験」の試験(聴)と試験(筆)に相当すると考えられていましたが、試験(筆)にはどう対処しましたか。

坪内　試験(筆)も学習範囲の中に含めていたのですが、梶浦学院長に「試験(筆)は外していいですよ」と言われて、思い切って範囲から外しました。あの時は「本当ですか？」と何度も確認してしまいました(笑)。

梶浦　そうでしたね(笑)。前例のない初回の試験に臨むわけですから、受験者は不安に思うことも多かったでしょう。

坪内　初めはすべてを抱え込んでいたので、途中からポイントを絞って、それ以外を捨てていく作戦に変更しました。過去問にしても、間違えるところが毎回同じだということに気づいたので、間違えたところを中心に学び直すようにしました。私は、いろいろな参考書やテキストに手をつけると対象がどんどん広がってますます不安になるので、勇気を出して対策講座と過去問のみに絞りました。

梶浦　なるほど。得意なところを伸ばすよりも、どちらかというと弱点を克服することに力を入れたんですね。それは一つの作戦ですね。

森　作戦を立てるのはいいことだと思います。

梶浦　坪内さんは日本語教師の仕事を始めていたし、お子さんもいらっしゃるから、勉強時間を捻出するのが大変だったんじゃないですか。

坪内　午前中を勉強の時間と決めて、息子を学校に送り出してから2～3時間を充てていました。午後は家事をして、家事がひと段落した夜9時頃に勉強を再開し、11時頃まで机に向かうというスタイルです。夏休みが明けた9月以降は、午後もできるだけ時間を見つけて勉強するようにしました。

梶浦　毎日3時間ですか。忙しい中かなり努力しましたね。

　日本語の授業の前は教案作りもしていましたが、教案作りは試験に役立ちましたか。

坪内　とても役立ちました。アルファで教案に対するフィードバックをいただきながら、授業を客観的に見る、多角的に見る、想定される質問を考えて第2、第3の受け答えを準備する、ということが段階を踏んでできるようになりました。それが最終的には応用試験対策にもちたなと感じています。

梶浦　「CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）」を参考にした「日本語教育の参照枠」からも出題されましたが、そうした問題には対応できましたか。

森　文部科学省や国際交流基金から出ていた情報は、もれなく確認するようにしていました。「日本語教育の参照枠」に関する冊子も読んでいたので、試験問題に対応することができました。

坪内　「日本語教育の参照枠」は、日本語を指導する際も、学習者のレベルの指標にしたり、目標設定の参考にしたりするので、日本語教育の基本中の基本です。試験対策には欠かせない項目だと思います。

森　このほか、時事問題対策として、関連省庁が刊行している白書や、観光庁や日本学生支援機構などのウェブサイトもチェックしておくといいと思います。

梶浦　日本語教育を管轄する文部科学省がどんな教育をめざしているのか、その指針を押さえることが重要だということですね。

◆合格後の変化

「日本語教員試験」に合格したことで教師として自信が持てた

梶浦　お二人ともそれぞれ外国人学習者に日本語を教えていますが、「日本語教員試験」に合格して何か変化はありましたか。

森　以前は自己流で教えていたのですが、「日本語教員試験」に合格して、アルファで実践研修を受けて、「いま教えているとの一つ一つにはこういう意味があるんだ」ということを考えながら指導できるようになりました。学習者とのコミュニケーションの取り方なども学び直せたので、試験勉強で得た知識と実践が少しずつ結びついてきた感覚があります。それが自信につながっています。

坪内　「これだけがんばって勉強して、合格した」という思いがあるので、それが一つのエビデンスとなって背中を押してもらった気がします。試験対策の一環として習得した知識を、今度は教授法として学習者に還元できればいいなと考えています。試験を受けていなければ、悩みながら少しずつ前に進んでいくことになると思うので、「日本語教員試験」に合格したことで自信が持てたことは大きいです。

梶浦　現役の日本語教師の中には、「日本語教員試験」を受けるべきか迷っている人も多いようです。試験に臨むことで日本語教育に関する知識が向上すると考えれば、認定日本語教育機関で教える資格が得られること以外にもメリットはありそうですね。

森　私自身は受けてよかったと思っています。

坪内　私も受けてよかったです。

梶浦　今後、お二人はどのようにして日本語教師のキャリアを積んでいきたいと考えていますか。

森　これからのことはまだ決めていないのですが、国家資格を持っていれば選択肢が増えて仕事の幅も広がるんじゃないかなと思っています。海外や認定日本語教育機関で教えることも含めて、いろいろな可能性を考えていきたいです。

坪内　私は子どもがまだ小学生なので、しばらくは日本で経験を積みたいと思っています。子どもが自立して環境が整えば、いつかは海外で教えてみたいです。プライベートレッスンのほうが向いている気がしますので、学習者と共通認識を持って一つのゴールをめざすような指導ができればいいなと思います。

梶浦　「登録日本語教員」制度ができた目的は、日本語教師の質を上げることと人数を確保することでした。国家資格にすることで注目度が上がり、日本語教師をめざす人の数は増えています。また、新しい制度では、登録日本語教員養成機関の養成課程を修了すれば学士を取得していなくても基礎試験が免除になりますから、今後はさらに養成機関ルートで「登録日本語教員」をめざす人が増えるかもしれません。

　質の向上という点では、第2回、第3回と試験の回数を重ねることに、坪内さんや森さんのような優秀な日本語教師が増えることを期待したいですね。

学習法のポイント

自分に合った資格取得ルートと対策を考えよう

「令和6年度日本語教員試験」の試験ルートの合格率は8.7%、基礎試験免除者（CルートおよびDルート）の合格率は61.0%。初回の結果を見るかぎり、基礎試験の難易度が高く、試験ルートはかなりの狭き門となった。もちろん独学で知識を習得して基礎試験と応用試験の両方に合格することは可能だが、基礎試験が免除になる養成機関ルートのほうが、より効率的に学べて、応用試験のみに専念できるという一面もあるようだ。また、日本語教育の現場経験がある人のほうが応用試験に有利だとも見られる。これから「登録日本語教員」をめざす人は、第1回の試験結果を踏まえて、自分に合った資格取得ルートと対策を考えよう。

＊記事内の情報は2025年7月末時点のものです。最新の情報は文部科学省のウェブサイトなどで確認してください。
文部科学省ウェブサイト「日本語教育」　https://www.mext.go.jp/a_menu/01_p.htm